

# 1学年 算数科 授業計画

広島市立 石内小学校

## ◆ 教科の目標

- (1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表わし方について理解できるようにするとともに、加法および減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についてについての基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにする。
- (3) 具体物を用いた活動を通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにする。
- (4) 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読みとったりすることができるようにする。

## ◆ 評価の観点

- ・数量や図形に親しみを持ち、それらについて様々な経験をもととする。
- ・数量や図形の基礎的、基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、数理的な処理に親しみ、考え表現したり工夫したりしている。
- ・整数の計算をしたり、身の回りにある量の大きさを比較したり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり読みとったりするなどの技能を身につけている。
- ・数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方及び整数の計算の意味を理解し、量・図形及び数量の数量の関係についての理解の基礎となる経験を豊かにしている。

## ◆ 評価の方法

学習態度、発表、テスト、プリント、ノート

## ◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前 期	○ 10までの かず	・10までの数の読み書きを知り、大小や順序について考える。
	○ なんばんめ	・順序や位置を数を用いて表すことを知る。
	○ いくつといくつ	・5～10の数の構成、分解がわかる。
	○ あわせていくつふえるといくつ	・10までのたし算を練習する。
	○ のこりはいくつがはいはい	・被減数が10までのひき算を練習する。
	○ 10よりおおきいかず	・20までの数の読み書きを知り、大小や順序について考える。
	○ なんじ なんじはん	・時計の目盛と長針、短針の意味がわかる。小や順序について考える。
後 期	○ どちらがながい	・長さの比べ方について考える。
	○ 3つのかずのけいさん	・簡単な3つの数の計算の練習する。
	○ どちらがおおい	・体積の意味がわかる。
	○ たしざん	・繰り上がりのたしざんの練習をする。
	○ ひきざん	・繰り下がりのあるひき算の練習をする。
	○ 20よりおおきいかず	・120までの数の読み書きを知り、大小や順序について考える。
	○ なんじなんふん	・何時何分の読み方がわかる。
○ ずをつかってかんがえよう	・加減の意味について図を使って考える。	